

過去最大規模の一般会計予算を編成！ 250億5,000万円(前年度比3億9,000万円・1.6%増) 平成31年度龍ヶ崎市予算(案)を発表しました

龍ヶ崎市では、本日(2/6)予算発表記者会見を開催し、平成31年度龍ヶ崎市予算(案)を公表しましたので、お知らせいたします。

【平成31年度予算のポイント】

○過去最大規模の一般会計予算を編成

一般会計予算：250億5,000万円(前年度比3億9,000万円・1.6%増)

※ 一般会計・特別会計予算総額：417億8,160万円(前年度比6億2,730万円・1.5%増)

○一般会計、特別会計をあわせた総額も過去最大の予算編成

【平成31年度の主な事業】

○中学生英語検定料助成(80万円)

- ・中学校教育における英語力、学習意欲向上のために実施
- ・中学生を対象として英語検定にかかる費用を補助

○常磐線佐貫駅駅名改称事業(3億7,835万円)

- ・2020年春に予定されるJR常磐線佐貫駅の「龍ヶ崎市駅」への改称費用

○コミュニティバスリニューアル(1億3,165万円)

- ・コミュニティバスのルート再編や増便、バスデザインのリニューアルに取り組みます。
- ・利用者の利便性向上へ運行状況がわかる「バスロケーションシステム」を導入

○防災情報伝達整備事業(810万円 ※3か年継続事業総額6億426万円)

- ・昭和58年～60年にかけて設置された防災行政無線を更新します。
- ・3か年事業(1年目-実施設計、2・3年目-工事)でスマートフォンアプリと連動する機器になります。

■発表日時 平成31年2月6日(水)午前11時 発表
(上記日時に開催した予算発表記者会見において配布した資料をお送りしています)

■添付資料 ・記者発表資料
・市長記者発表要旨
・平成31年度龍ヶ崎市予算の概要

担当課

龍ヶ崎市 総務部 財政課 財政グループ
担当者：富塚(とみつか)・木村(きむら)
連絡先：0297-60-1517(直通)

平成31年度は、「ふるさと龍ヶ崎」の未来を見据えた まちづくりをすすめる年です。

平成31年度は、本市のまちづくりの基本方向を示す最上位計画「第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」の折り返しの年であり、「市民活動日本一」「子育て環境日本一」「防災・減災日本一」「スポーツ健幸日本一」の4つの重点目標の推進を中心に、市民サービス全体のバランスを考慮しながら、事業を着実に実行していく年です。

平成31年度予算のポイント

一般会計予算は250億5,000万円、前年度比3億9,000万円(1.6%)の増。一般会計・総計ともに過去最大の予算規模となりました。

会計別予算の状況		平成31年度	平成30年度	比較	増減率
一般会計		250億5,000万円	246億6,000万円	3億9,000万円	1.6%
特別会計	国民健康保険事業	75億 700万円	76億5,500万円	△1億4,800万円	△1.9%
	公共下水道事業	22億5,900万円	23億2,840万円	△6,940万円	△3.0%
	農業集落排水事業	6,700万円	6,740万円	△40万円	△0.6%
	介護保険事業	48億8,700万円	49億3,000万円	△4,300万円	△0.9%
	障がい児支援サービス事業	3,600万円	3,300万円	300万円	9.1%
	後期高齢者医療事業	14億5,400万円	13億5,980万円	9,420万円	6.9%
	介護サービス事業	960万円	1,570万円	△610万円	△38.9%
	工業団地拡張事業	5億1,200万円	1億 500万円	4億 700万円	387.6%
	特別会計合計	167億3,160万円	164億9,430万円	2億3,730万円	1.4%
総計		417億8,160万円	411億5,430万円	6億2,730万円	1.5%

国の平成31年度地方財政対策では、地方税が増収となる中、地方交付税を前年度から0.2兆円上積みし、代わって臨時財政対策債を0.7兆円抑制することで、質を改善するとともに、前年度を0.6兆円上回る一般財源総額を確保しました。

本市においては、市税や地方消費税交付金は増収を見込みましたが、臨時財政対策債を含む実質的な地方交付税は、平成30年度の算定結果を反映し、3億円の減収としたことから、一般財源総額では前年度比で6千万円の減額となりました。

歳出では、コミュニティバスの再編・増便に伴う運行経費の増加に、常磐線佐貫駅駅名改称や国体開催などの臨時的な支出が加わった結果、一般会計の予算規模は250億円を超え、過去最大となりました。

一般財源の減と歳出の増のギャップは、常磐線佐貫駅駅名改称にみらい育成基金と地域振興基金を活用したほか、財政調整基金と減債基金を合わせて8億円繰り入れて対応しています。

特別会計では、工業団地拡張事業特別会計に用地取得費と造成費を計上したことから、特別会計全体で2億4千万円の増額となりました。借り入れた市債は、用地を売却した収入で返済される予定です。

予算総額では、417億8千万円と、これも過去最大となっています。

平成31年度主要事業

★新規 ☆拡充 ☆継続 ◎みらい育成基金充当事業

教育環境の向上と「子育て環境日本一」	
★ 小中学校特別教室へのエアコン設置(H30繰越事業)	2億8,532万円
★ 英語指導助手の増員(2人増員し12人体制で小学校英語教育を充実)	5,494万円
★ 中学生英語検定料助成	80万円 ◎
★ 新学校給食センター建設事業(地質調査等)	1,457万円
★ 駅前こどもステーションの運営(保育所等への送迎と子育て支援センター)	4,159万円
★ 保育士等支援事業の拡充(家賃補助・修学資金貸付)	1,020万円
★ 生活困窮世帯のこどもたちへの支援(無料塾・こども食堂)	779万円
にぎわいの創出と「市民活動日本一」	
★ 常磐線佐貫駅駅名改称事業	3億7,835万円 ◎
★ シティセールスプロモーション事業(駅名改称を含むプロモーション支援)	1,500万円
★ コミュニティバスリニューアル(ルート再編・増便・ロケーションシステム導入など)	1億3,165万円
★ 工業団地拡張事業(用地取得費・造成費)	5億1,200万円
★ 牛久沼フォトコンテスト&カレンダー作成	61万円
★ 「全国コロケフェスティバル in 龍ヶ崎」の開催	500万円
★ (仮称)まちなか再生プラン策定(2か年継続事業 総額1,154万円)	808万円 ◎
★ たつのこ産直市場の運営	1,747万円
★ 新規就農者経営支援・畑作農業ステップアップ支援事業	980万円
安全安心なまちづくりと「防災・減災日本一」	
★ 防災情報伝達設備整備事業(3か年継続事業 総額6億426万円)	810万円
★ 防災貯留型トイレの整備(避難所となる小中学校5か所)	2,500万円
★ 文化会館大ホール天井等改修工事(2か年継続事業 総額1億4,852万円)	8,911万円
★ 新エネルギーシステム導入補助(家庭用燃料電池・リチウムイオン電池)	500万円
健康づくりの推進と「スポーツ健幸日本一」	
★ 健幸マイレージ事業の推進(ポイント交換・ウォーキングイベント開催等)	895万円 ◎
★ (仮称)まいん「元気」サポートセンターの開設	1,370万円
★ 禁煙外来治療助成	15万円
★ いきいき茨城ゆめ国体開催等事業(柔道・スポーツウエルネス吹矢)	1億 90万円
★ 東京五輪事前キャンプ招致及びスポーツ交流事業	1,096万円
★ (仮称)龍ヶ崎マラソン大会開催準備	311万円
★ 龍ヶ岡公園テニスコート改修工事(夜間照明設置・人工芝化・フットサル対応)	9,609万円
公共施設・インフラの新設・拡充等	
★ 旧馴馬小学校体育館・プール解体工事	7,355万円
★ 旧北文間小学校校舎等解体・改修工事実施設計	551万円
★ 佐貫排水ポンプ場改築工事(3か年継続事業 総額8億5,968万円)	2億5,790万円
★ 市庁舎外壁塗装等改修工事	1億4,194万円

※道の駅整備事業は、護岸改修工事の進捗に合わせ、予算計上していく予定です。

市長記者発表要旨

平成31年度の予算規模ですが、前年度と比較して、一般会計と特別会計を合わせた総計は、6億2,730万円、1.5%増の417億8,160万円、一般会計は、3億9,000万円、1.6%増の250億5,000万円、特別会計合計額は、2億3,730万円、1.4%増の167億3,160万円としています。

一般会計、総計ともに、過去最大の予算規模となりました。

工業団地拡張事業特別会計が大きく増加していますが、これは、用地取得費と造成費を計上したためです。借り入れた起債は、用地を売却した収入で返済する予定です。

平成31年度は、本市のまちづくりの基本方向を示す最上位計画「第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」の折り返しの年であり、「市民活動日本一」「子育て環境日本一」「防災・減災日本一」「スポーツ健幸日本一」の4つの重点目標の推進を中心に、市民サービス全体のバランスを考慮しながら、事業を着実に実行していく年と位置付けました。

特に、にぎわいの創出による交流人口の増加と定住促進に力を注ぎながら、限られた財源を有効に配分するための予算編成に留意しました。

続いて、平成31年度の予算の特徴です。

一般財源について、国の地方財政対策では、地方税の伸びを見込んだうえで地方交付税を上積みし、代わって臨時財政対策債を抑制することで、質を改善しながら、前年度を上回る一般財源総額を確保したとしています。

反面、本市においては、市税や地方消費税交付金は増収を見込みましたが、臨時財政対策債を含む実質的な地方交付税は、平成30年度の算定結果を反映し、3億円の減収としたことから、一般財源の総額は、6,000万円の減となりました。

歳出については、コミュニティバスの再編・増便に伴う運行経費の増加に、常磐線佐貫駅駅名改称や国体開催などの臨時的な支出が加わった結果、一般会計の予算規模が、前年度より拡大しています。

次に、平成31年度当初予算に計上した主な事業について、戦略プランの全体像と4つの重点目標に関連付けて、「教育環境の向上と子育て環境日本一」「にぎわいの創出と市民活動日本一」「安全安心なまちづくりと防災・減災日本一」「健康づくりの推進とスポーツ健幸日本一」の取組に分けてご説明します。

まず、「教育環境の向上と子育て環境日本一」です。

小中学校の特別教室へのエアコン設置については、国の補正予算を活用して、平成30年度の補正予算で措置したところですが、繰越事業として平成31年度に実施します。

英語指導助手については、小学校の学習指導要領の改訂により、平成32年度から教科化等が予定されていますが、前倒しで英語指導助手を2名増員し、12名体制で充実を図ります。

また、中学生に対しては、新たに、英語検定料の助成を開始します。

新学校給食センターについては、建設予定地の地質調査などの予算を計上しています。

子育て支援に関しては、好評を得ております。「駅前こどもステーション」における送迎バスを増便するほか、保育士への家賃補助や就学資金の貸し付けなどを拡充し、保育環境の充実を図ります。

無料塾やこども食堂のような、生活困窮世帯のこども達への支援にも、力を注いでいきます。

「にぎわいの創出と市民活動日本一」では、JR常磐線佐貫駅の「龍ヶ崎市駅」への改称が平成32年春に予定されているため、JRへの負担金を予算化しました。駅名改称を好機として、本市の認知度向上、イメージアップにつながる、シティセールスプロモーションにも力を入れて取り組みます。

また、龍ヶ崎、佐貫、北竜台、龍ヶ岡の4つの住宅系市街地を結ぶコミュニティバスは、運賃を見直すとともに、より使いやすくルートを再編し、便数を倍増して運行時間も拡大します。結節点となる、関東鉄道竜ヶ崎駅、サプラ、済生会病院では、バスロケーションシステムにより、運行状況が把握できるようになります。

つくばの里工業団地の拡張については、用地の取得が完了し、造成工事に着手します。造成地販売の準備も進めてまいります。

平成30年度に開催し、好評を得ました、牛久沼フォトコンテストと、優秀作品によるカレンダー作成は、平成31年度も引き続き実施します。なお、道の駅整備事業は、護岸改修工事の進捗に合わせ、予算計上していく予定です。

平成31年度は、3年に1度の「全国コロッケフェスティバル in 龍ヶ崎」開催の年に当たります。コロッケのまち龍ヶ崎の魅力を全国に広めていきたいと考えております。また、平成30年度から2か年で「まちなか再生プラン」を策定し、中心市街地活性化のための具体的な取組を描いていきます。

平成30年4月にオープンした、「たつのこ産直市場」ですが、イベントやキャンペーンを開催しながら、農業の活性化支援や地産地消を推進します。また、各種補助を通じて、新規就農者や農業機械の更新などを支援していきます。

「安全安心なまちづくりと防災・減災日本一」では、平成31年度からの3か年継続事業として、昭和58～60年に設置しました、防災行政無線を更新します。更新に当たっては、現行の防災無線のデジタル化を含め、新たな防災情報の伝達システムの構築を模索していきます。

平成29年度より取り組んでおります、防災貯留型トイレ、いわゆるマンホールトイレの避難所への設置も、引き続き進めてまいります。平成31年度は、新たに5か所の小中学校へ設置します。

文化会館大ホール天井の非構造部材の耐震改修工事は、2か年継続事業の2年目となり、今秋には完了の予定です。

新エネルギーシステムにかかる補助については、普及促進の観点から、家庭用燃料電池システムとリチウムイオン蓄電システムの設置補助に再編しました。

「健康づくりの推進とスポーツ健幸日本一」では、平成29年12月にスタートした、「たっぽくん健幸マイレージ」事業において、様々な機会を活用して登録者を増やし、日常的なウォーキングの促進や、各種検診の勧奨などを図ります。地域住民の健幸の拠点となる、（仮称）まいん「元気」サポートセンターも、年内開設を予定しています。

また、妊娠者や18歳以下のこどもと同居する喫煙者が禁煙外来治療を受ける際の助成を新たに開始します。

「いきいき茨城ゆめ国体・ゆめ大会」は、いよいよ10月に本番を控えています。本市においては、柔道競技とスポーツウエルネス吹矢が開催されます。市民の皆さんとともに盛り上げていきたいと考えています。

東京五輪の事前キャンプの招致については、タイ王国の陸上、キューバ共和国及びオセアニア地域の柔道の事前キャンプ地となることが決定しています。一流アスリートの技を間近で体感し、様々な国の人々と交流する絶好の機会と考えています。

マラソン大会も、開催に向けて動き出します。平成31年度は、コースの計測や事前計画の作成などを予定しています。また、龍ヶ岡公園のテニスコートは、夜間照明を設置するとともに、表面を人工芝に改修します。テニスだけでなく、フットサルもできるようになります。

その他、公共施設の縮充も、順次、実施してまいります。平成31年度は、旧馴馬小学校体育館・プールの解体工事費と旧北文間小学校校舎の解体、改修にかかる実施設計を予算化しています。

以上、駆け足となりましたが、平成31年度予算の概要をご説明しました。

「人が元気 まちも元気 自慢したくなるふるさと 龍ヶ崎」の実現のため、市民の皆さんと力を合わせて全力でまちづくりに取り組んでまいります。

ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。